

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105222		
法人名	医療法人 春風会		
事業所名	グループホームはるかぜ西伊敷		
所在地	鹿児島市西伊敷4丁目45-5		
自己評価作成日	平成23年1月28日	評価結果市町村受理日	平成23年4月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kagoshima-kaigonet.com
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会		
所在地	鹿児島市城山 1丁目16番7号		
訪問調査日	平成23年3月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅街に位置し広い敷地には四季の花・菜園が育てられ、時期物を、利用者様と共に収穫・調理し楽しんでいます。ホーム内も広く、全室個室でプライバシーを守り共有の場では、ゆったりと過ごせる空間作りに努め、毎朝、職員と共に朝の集いがあり、お一人お一人の、その日の思い・意向を伺い業務にしばられない臨機応変なケアの提供を実施しています。又、最後まで「人間らしく・その人らしく」を理念に、生活リハビリに力を入れ、自立した生活が営まれるよう支援しています

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の交流室を町内会やあいご会等の会合場所に、庭を夏休みのラジオ体操の場所に開放し、地域の方々との交流に積極的に努めている。
職員の教育が充実し、全利用者の情報を共有し、両ユニットの業務の連携が可能である。
多くの家族は、職員の熱心な利用者への対応に感謝し安心している。(アンケートより)
各居室にノートを設置して、家族の面会時に担当職員が休みの時でも 家族に報告できたり、家族からの要望を聞く工夫をしている。
各居室に誘導完了札や粉塵マスクを設置したり、地域の方々が勉強会にも参加され、細かい協力体制を築けるように工夫している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	目に触れる位置に提示し、ネーム裏にも記載して 毎朝、朝礼時唱和を行い、常に理念を意識した ケアの提供に努めています	「あなたと家族の絆を地域の中で大切に支えます」と地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を掲げ、家族と一緒に地域の行事に参加したり、散歩等で地域の方々と利用者とのふれあいを大切に支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、チリ置き場の清掃・回覧板を 回す・交流室の解放・夏休みなどホーム庭で 子供らと共にラジオ体操を行うなど交流を図っています	事業所の交流室を町内会やあいご会等の会合場所に、庭を夏休みのラジオ体操の場所に開放し、地域に貢献している。また、夏祭りの準備・婦人会参加・認知症の勉強会等、職員も地域の一員として地域との交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症について勉強会を開催したり、外部研修などのお知らせを回覧版で回したり、相談事への支援を行っています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月のホーム行事・状況を報告し、意見・提案など話し合われた事は、ミーティングの場・家族会などに図りサービスに活かしています	年6回、地域包括支援センターの職員・民生委員・町内会長・歯科医師・家族等の参加により開催している。事業所の状況報告や運営に関する問題点等を話し合い、サービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鹿児島市相談員受け入れ・介護相談など地域包括との連携を図るなど関係づくりに努めています	事業所の実情やケアサービスの取り組みは、運営推進会議で報告し、鹿児島市役所伊敷支所の担当職員から、利用者の個々の相談事に協力を貰っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ホーム内・外部研修など積極的に参加し、身体拘束について正しく理解し生命に危険がおよび代替性が無いか職員一同で検討を図り取り組んでいます	毎月、身体拘束委員会で研修し、グループホームでの具体的な身体拘束の理解に努め、利用者の身体拘束について職員一同で検討し、身体拘束をしないケアに向けて取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等には、積極的に参加し学ぶ機会をもち防止に努めています		

自己評価	外部	項目	外部評価	
			自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は特に学ぶ機会を持ち家族会や個々の必要性の関係者へは活用できるよう支援しています	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約には入居時、十分な説明を行い同意を得ています	
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様とは毎朝「朝の集い」又ケアの提供時ご家族様は、家族会・訪居・居室ノートなどを利用して意見・要望を伺い反映させています	4・9・12月の行事の時に、家族会を開催し、家族の意見を聞く機会を設けている。各居室にノートを設置して、家族の面会時に担当職員が休みの時でも家族に報告できたり、家族からの要望を聞く工夫をし、利用者のケアに反映させている。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング・業務中など、常に職員の声に耳を傾けています	管理者と職員の信頼関係が築かれ、ミーティング等での意見や提案を率直に話せる関係ができています。利用者の状態変化で出勤時間の変更をする等業務改善に繋がっている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業環境に気配り・目配りで対応しています	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経費負担をするなど研修に参加できる環境に力を入れています	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設と交流を図り、勉強会を設けスキルアップへつなげています	

自 己	外 部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前訪問を行い面談を実施し、本人の思いなど十分に伺い関係作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホームで出来る事・出来ない事など説明し、ご家族の思い・要望の把握に努め関係作りに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談を行い、その方に適したサービスを利用できるように支援しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事・出来ない事を見極め、尊厳の気持ちを忘れず、人生の先輩方に教えを受けるなど共に暮らす仲間として関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	状況・状態を常時伝え、共に支える関係に努めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会・電話・ファックスなど本人が自由に来来、本人の意向を伺い、家族の承諾の下支援しています	仏壇のある自宅や墓参りに同行し、利用者が大切にしていることの継続の支援をしている。家族の関係が途切れないよう、家族との関わりができるよう支援しているが利用者の高齢化に伴い、家族の関わりへの不安があり実践できない方もいる。	高齢化に伴い重度化・看とりは避けられないことであるので、各家族の関係が思い出になるよう、家族の協力ができることからプランに取り入れ支援に努めることを望みます。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホール中央に集える環境を作り職員と共に過ごしたり利用者様方交流の場となっています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	常に関係性を保ち、必要に応じて相談・支援を行っています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	朝の集い・日常生活の中で本人の思い・意向の把握に努め、ご家族と連携を図りできる限り支援できるよう努めています	毎朝の朝の集い時やケアの中で、やりたい事・思いを聞いた事や職員の気づきを記録に残し把握に努めている。家族と年に1~2回個別面談を行い、家族の意向を聞く機会を設けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話の中・ご家族・関わりのあった方々より情報提供していただき把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	送り・カンファレンス・ケアの提供の中で、職員間の情報の共有に徹し現状把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族の思い・意向は、訪居時の面談や電話、ご本人とは、会話の中で思い・意向を伺ったり・推察したりして職員の毎月のモニタリング・カンファレンス等で検討を図り介護計画作成につなげています	毎月、利用者の担当職員がモニタリングを行い、カンファレンスで主治医の意見や本人・家族の意向等を検討し、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	実施記録を毎日記入し生活の様子からモニタリングを行い活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その方のニーズに要する支援に取り組んでいます		

自己評価	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の楽しみ・意向の把握に努め安全に取り組めるよう支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人・ご家族の意向に沿い必要性が生じたら、ご家族と検討を図り支援しています	本人・家族の希望する主治医になっている。病院受診記録にて、主治医へ日常的な身体状況を報告し、受診の結果は家族に毎月報告している。他科受診は、家族に協力もらい実施している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関・主治医など利用者と関わりのある看護師と連携を図り支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ソーシャルワーカー・関係者と常時連携を図り支援に努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族との連携に努め、段階に応じて要する支援に努めています	入所時の重要事項説明時に、利用者が重度化した時に事業所ができることを説明し同意を得ている。重度になった時には、家族・主治医と再々の面談を行い終末期に向けた方針を職員も共有して、支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	安全対策マニュアルを作成し、実践につなげるよう委員会開催・実技指導に取り組み支援できるよう取り組んでいます		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会を交え、年6回以上の訓練を実施して常に危機感を持ち防災に努めています	各居室に誘導完了札や粉塵マスクを設置している。地域の方々が勉強会にも参加され、第2避難場所への誘導をお願いし、細かい協力体制を築いている。3月中にスプリンクラーの設置が完了する予定である。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人を十分に熟知し、その方に適した支援をしています	職員は、両ユニットの利用者について、状況の把握に努め、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや羞恥心への配慮を心がけた支援をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎朝の集い・ケアの提供の中で会話を楽しみながら思いを表すことができるよう支援に努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の集いの中で意向を伺い、全ての利用者の望みを叶えることは困難であるが、出来る限り沿えるよう努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人より得た情報・発せられた言葉など、ご家族へ知らせたり、本人の意向に沿っています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来ることを見極め共に取り組んでいます	利用者に食材を話し、食べたい献立を聞き調理している。利用者の力量を活かしながら食事の準備をして、職員も一緒に食卓を囲み食事をしている。そうめん流しやファミリーレストランへ出かけ、外食を楽しむ機会を設けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医の指導の下、本人の体調に合わせた提供を実施しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	疾病予防となる口腔ケアは、毎日重視して取り組んでいます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	情報を共有しカンファレンス等で十分に検討を重ね失敗の軽減に努めています	立ち上がり訓練・歩行訓練等の生活リハビリをプランに上げてトイレでの排泄や排泄の自立に繋がっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	服薬に頼らないで自然排便できるよう食事・水分運動に努めています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日・時間帯の取り決めはあります。しかし、その日・時・状況・状態に合わせて臨機応変に対応しています	2ユニットの入浴日を同じ曜日にしないことで、毎日入浴が可能になるように工夫している。利用者の状態や事業所の行事で変更になることもあるが、週3回は入浴することを支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後30分の臥床は毎日実施しています。本人の意に沿った支援をおこなっています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者全員の服薬情報を把握し、作用・副作用を理解した支援をおこなっています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る事・できない事を見極め役割へと繋げ本人の意向を伺いながら支援に努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族と連携を図り意に沿えるよう努力しています	晴天時には、事業所の敷地での日光浴・外気浴や事業所近辺の散歩に出かけている。花見・そつめん流し・遠足・外食等の事業所の行事や家族の協力をもらっての個別外出等外出支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物同行で支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ・手紙のやりとり・年賀状などやりとり出来るよう支援しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	臭い・不快感には十分に配慮し、季節を感じる花を飾り、居心地良く過ごせるよう支援しています	食事や洗濯物たたみ等の軽作業時には食卓テーブルを使い、利用者同士がくつろぐ場所にソファや畳の部屋を利用して生活の変化を感じる工夫をしている。一階は、全盲の利用者のために移動導線を確保するように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファでくつろぐ・好天気には、日向ぼっこしならお茶したり、思い思いに過ごせるよう支援しています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、なじみの物を、お願いしています。居室作りは、本人と家族で実施され、ホーム側は危険を回避する支援をおこなっています	利用者それぞれの力量にあわせてベッドの配置を工夫している。家族の協力により、それぞれの家財道具が運び込まれ、個性的な居室が作られている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	目に訴える・手の感触など自立支援に繋がっています		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

項目	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「あなたと家族の絆を地域の中で大切にさせていただきます」と理念に掲げホーム内・ネーム裏へも記載し毎朝、朝礼時唱和をおこない常に意識したケアに取り組んでいる		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者様と共にチリ捨て場の清掃・回覧板の受け渡し・散歩・買い物時など挨拶を交わし立ち話をするなど日常的な付き合いをしています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議・町内会の会合時などに相談事・不明な点など常時応じることを伝えていきます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状報告・行事報告など行いホームが抱えている問題点など話し合わせ意見・提案をいただいたことは、ミーティングなどで話し合い資質向上に活かしています		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険・高齢者福祉など相談に行ったり、車椅子借用・介護相談員受け入れなど協力関係を築いています		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し月1回必ず振り返りを全職員で行っています		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルを作成し機会あるごとに研修へ参加してケアの中、職員間で注意を払うなど取り組んでいます		

項目	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修へ参加し知識を高め家族会・必要と思われる個々の方へは必要性を説明するなどしています。今までにお一人の家族より相談があり書類作成に携わりました		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書にて十分な説明を行い疑問点など理解が得られるよう努めています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「気づいたこと・ホームへの要求」など何でも記入していただくノートを各居室へ設置したり又鹿児島市介護相談員訪居時は事前にお知らせするなどしている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや常日頃のケアの中でも意見を取り入れ反映させている		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の状況・状態など把握し互いに思いやる気持ちを忘れず働きやすい環境作りに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修も積極的に参加できるよう体制を整えています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他ホームとの交流において良いことは真似をするなど質向上を目指して取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、ご家族承諾の下本人との面談を設けなじみの関係作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前相談・契約時に十分に思いを伺い関係作りに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・ご家族との面談で「その時、何が一番必要な支援」か見極めた支援を行っています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援を心がけ、出来ることは共に行い経験・知恵を拝借し常に共にを心がけたケアを提供しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族と連携を図り、受診同行・誕生会・食事会・外出など協力を得共に本人を支える関係を築いています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族の承諾の下馴染みの人・場所など支援に努めています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他者の居室を行き来する・日向ぼっこをしながら会話を楽しむ等見られ互いに思いやり・尊重し合い助け合う場面も見られます		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	職員が面談・面会に伺ったり、ご家族より相談の連絡があったりして支援に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常日頃よりケアの中で、その方の思い・意向の把握に努め、ご家族より十分な聞き取りを行い本人の思いに近づけるよう支援しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・関係者より十分な聞き取りをおこない把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝の挨拶・集いの会などで、本人の状態・思いを伺い職員間で共有して現状把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ケア実施記録より担当者がモニタリングを行い・ケアカンファレンス・ご家族・他の関係者と意見交換を行うなど状況・状態に合わせたプラン作りに努めています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	発せられた言葉・気づき・思いなど記録に残し情報の共有を図りプラン作りに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	主治医の往診など、ご本人・ご家族の思い・意向に柔軟に対応しています		

自己評価	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の活動に参加するなど必要に応じて対応できるように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族の意向を尊重した支援を実施しています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力病院の看護師・主治医等に相談を行い支援しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	職員が交代で面会に伺い安心を促し管理者が、早期退院を目指し積極的に相談などおこなっています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化・終末期のあり方については、契約時に話し合いがなされ意向を伺い全職員で情報を共有しています。又、状態に変化があった時などは、その都度主治医、ご家族と共に方針が話し合われ意向が反映されるように支援しています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応・事故対策マニュアルにもとづき月1回定期的に勉強会を設けています。又、年1回救命救急の指導も受け実践力につなげるよう努めています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自主訓練を年5回・消防署立ち合いを年2回実施し災害対策に努めています。又近隣の方々へは町内会長を通じ協力体制につなげています		

目 次	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人を十分に把握し、その方に適した言葉かけやケア提供に努めています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	気軽に何でも話せる関係作りに努め、思いを察知するなど本人の意向に沿えるよう努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝の集いの中で毎朝意向・思いを伺い本人ペースで過ごせるよう支援しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人の意向を伺い、ご家族の承諾の下支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の出来る事を見極め、買い物・調理・味見・盛り付け・片づけ等共に行っています		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取量を把握し記録に残し本人の状態に合わせた支援を実施しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自立支援を促し、出来ない部分を介助して飲食後は、毎回実施しています。		

No.	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄リズムを把握し、失敗のないように努め、本人にあった排泄介助をおこなっています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維が多く摂れるよう食材に工夫をおこない水分に関しては1日1500Cc以上摂取できるよう工夫、又、適度な運動への参加を促しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日・時間の取り決めはあるが、身体状況・意思・本人のその日の状態に合わせ臨機応変な対応をしています。しかし、夜間帯は、安全確保の不十分なことから実施できていない		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意思を尊重し状況に応じて、声かけを行い自室でゆっくり休んでもらえるよう支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	管理者作成の投与薬の効能と副作用について一覧表がある。利用者、個々の使用している薬の内容が解るようになっていきます。症状変化の確認に努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	読書・散歩・畑いじり等生活歴を活かし活動されている。又一人一人自ら役割に取り組まれる姿があります		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	朝の集い・ケアの中で思いを伺い希望に添えるよう努め映画や庭園などに出かけています。又ホーム行事等に組みソーマン流し・花見・外食等、ご家族と共に支援しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは、ホームにて預かり必要に応じて出し入れを行っています。本人・ご家族と話し合い所持されておられる方もいます		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由にできるよう支援しています。職員と共にポストに投函に行ったりしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快な臭いがしないように・寒い時期は、浴室と脱衣所の温度差がないように・ホーム内には季節の花を飾り季節感をあじわっていただくなど配慮しています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様同士、居室訪問されたりソファーで思い思いにくつろいだりされています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に、馴染みの家具・使い慣れた道具・ご本人が居心地良く生活できるよう支援しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人を十分に把握し、目・感覚などへ訴え自立支援につなげています		